

諏訪部地域 資源循環型施設に関する市長懇談会 【開催結果のお知らせ】



日時 平成30年5月24日
午後7時から9時まで

場所 清浄園2階会議室

主催 上田地域広域連合・上田市

話し合いの主な内容

5月24日午後7時から、清浄園で市長懇談会を実施いたしました。

諏訪部地域の18の皆様に御参加いただき、午後9時まで予定を延長し、御質問や御意見等をいただき、熱のこもった懇談となりました。

当日に御出席できなかった皆様へも情報をお届けするため、話し合いの主な内容をお知らせいたします。

1. 皆様からの御質問と回答

質問 ①

問い

資源循環型施設に関して、環境面等に不安があるので、早期に第三者による科学的な調査を行ってほしい。考えはどうか？

これまで、自治会から情報が伝わらなかった。不安を抱えている方も多いと思う。環境や安全面について、第三者の専門家による調査を行い、その意見を判断材料にする手法の1つとして環境影響評価がある。早期に取組み住民に周知してほしい。

お答え（回答者：事務局職員）

施設の影響による周辺環境等への不安や懸念等に科学的にお答えするため、地元の皆様の御理解をいただいたうえで、調査を進めていきます。

- ・ 昨年末の秋和・上塩尻・下塩尻自治会の説明会でも、専門家の意見を聞くべき、環境に対する不安を払しょくする科学的データがないとの意見をいただいた。
- ・ 施設による周辺環境への影響や不安に対し、環境影響評価の結果を踏まえ、科学的にお答えしたい。
- ・ 地元の皆様との話し合いを通じて、施設整備計画の策定と合わせて安全面についての説明も進めていきたい。

質問 ②

問い

「清浄園用地」以外の場所を建設候補地として検討しているのか？

- ・この場所に建設することを決めたのか。ほかの場所も検討しているのか。
- ・反対意見があっても、この場所を進めていくのか。

お答え（回答者：土屋 陽一 市長）

他の場所は検討しておりません。現計画で御理解を求めてまいります。

- ・施設設置者としては、施設の安全性や検討すべき課題などの正確な情報を提供したいので、話し合いへの御協力をお願いしたい。
- ・安全や環境面には万全を期し、施設周辺の資産価値を低下させない振興策に取り組む。

質問 ③

問い

「清浄園用地」周辺の地域振興計画や用途地域の見直しはどう考えるか？

- ・市は、清浄園の前身の「し尿処理場」周辺を、都市計画で工業専用地域に指定し、工場誘致による地域発展を図ったが実現していない。その不信感が反対の一因ではないか。
- ・地域振興計画を地域に示し、住民の意見も聞いて欲しい。

お答え（回答者：事務局職員）

施設整備に併せて、周辺の地域振興策を用途地域見直しも含めて検討します。

- ・資源循環型施設の生み出すエネルギー利用も含め、地域振興について検討したい。
- ・高齢者福祉センターも含めた総合福祉ゾーンでの整備も一案だが、話し合いたい。
- ・建築制限等を緩和する用途地域の見直しも含め、地域価値向上の方策を考えたい。

質問 ④

問い

資源循環型施設に対し、行政の熱意が感じられない。「命がけ」というくらいに真剣に取り組んで欲しい。市長の心意気はどうか？

お答え（回答者：土屋 陽一 市長）

まさに「命がけ」という覚悟で取り組むので、御協力をお願いします。

- ・資源循環型施設整備を最優先の選挙公約に挙げており、曲げることなく取り組む。
- ・市長として、まず諏訪部地域の皆さんとぜひ話ししたい思いで開催している。

市長の回答への御意見

市長の決意に、ぜひ今後の取組みを期待したい。

質問 ⑤

問い

今後のし尿処理について、上田市における清浄園に代わる受入先の協議状況についてはどうか？

お答え（回答者：事務局職員）

南部終末処理場に、し尿 前処理 下水道投入施設を整備する計画として、地元の下之条自治会と協議を進めています。

- ・南部終末処理場の臭気対策と緑化に対する要望を地元からいただき、関係部局と共に対策を進めている。
- ・地元説明会をこれまで4回ほど開催し、協議を続けている。

質問 ⑥

問い

資源循環型施設の建設に反対である。しかし、仮に清浄園用地で建設する場合は、これが最後と考えているのか。
数十年後の建替えも、この地域で考えるのか？

- ・ 地域住民は、迷惑施設が集中していることに疑問を抱えている。更に焼却施設の建設となれば、なかなか受け入れられないというのが自然な感情だと思う。
- ・ 昔は臭気など公害が発生していた。それを経験してきた年配の方は抵抗がある。
- ・ 市長は、地域に寄り添って進めていくというが、反対者からすれば計画を白紙撤回することが寄り添うことだと思う。
- ・ 迷惑施設のマイナス面は、臭気や騒音だけでなく、その地域に住む人の心が荒れてしまうことである。この地域に、これ以上、迷惑施設を持ってきて欲しくない。

お答え（回答者：土屋 陽一 市長）

「次の施設は、この地域では建設しない。」という考えであります。
別の場所で検討する思いであります。

- ・ 過去から迷惑施設を受け入れていただいていたことを承知している。また先人の皆さんが苦勞されてきたこともお聞きしている。
- ・ 地域に寄り添うというのは、話し合いお互いに理解を深める努力するという思いを申し上げている。

問い

「次の施設は、この地域で建設しない」ということを、しかるべき時に、自治会等のしかるべき相手と文書で取り交わせるか？

お答え（回答者：土屋 陽一 市長）

清浄園用地で施設を建設する際には、取り交わす覚悟であります。

質問 ⑦

問い

行政から各世帯へ郵送された資料や意見提言用紙を回収している人がいるが、許されるのか？

お答え（回答者：事務局職員）

郵送物は個人の所有なので、強制的に回収することはできません。

- ・どなたにも強制的に回収する権利はありませんので、応ずる義務はありません。
- ・任意での「お願い」に留まるものと考えられますので、拒否することも可能です。

質問 ⑧

問い

清浄園用地の周辺農地の耕作者への補償等も考えてほしい。
また、地元自治会に対し、集会施設等の改築や自由に使用できる交付金などの地域振興策を実施するつもりはあるか？

- ・他地域の事例として、地元自治会の集会施設の改築・改修や、毎年100万円又は一括して3,000万円を交付金として交付していると聞いている。
- ・交付金がもらえれば、自治会の判断で地域内の老朽化した施設の改修など、いろいろな用途に使えるので、ぜひお願いしたい。

お答え（回答者：事務局職員）

地元の地域振興に活用できる交付金等を前向きに検討してまいります。

- ・地域振興は、地域の皆様との話し合いで進めていくことを基本と考えている。
- ・行政からの交付金も地域振興に活用いただけるよう、前向きに検討していきたい。

質問 ⑨

問い

収集運搬車の通行による交通渋滞、排気ガス等の影響についてどう考えるか。全市的な道路整備が必要ではないか？

- ・ 真田方面又は青木方面、朝の通勤時間帯は、かなり渋滞している。
- ・ 収集運搬車の生活道路通過による排気ガス増加も懸念される。
- ・ 施設建設の前提として、市内全域の道路をもっと整備すべきではないか。

お答え（回答者：事務局職員）

運搬搬入は時間帯とルート指定が可能であり、排気ガスは環境影響評価などの実施により、科学的なデータをお示しすることが可能です。

- ・ 通勤時間帯に渋滞があることは感じている。現在の上田クリーンセンターでは、8時30分からお昼の時間帯を除く16時までごみを受け入れており、通勤時間帯をさける搬入時間の設定としている。
- ・ 搬入車両は1日190台（パッカー車130台、その他60台）の想定で、地域内の生活道路は搬入ルートとはしない。
- ・ 幹線道路から施設までの道路整備も必要と考えている。

お答え（回答者：井上 晴樹 上田市副市長）

市内の道路整備は、諏訪部地域をはじめ、市民の御協力を得て、必要な事業を進めています。

- ・ 市内の道路は国道、県道、市道と管理者が様々であり、整備については国、県への要望も含め、常に実施している。
- ・ 道路整備は、地権者からの買収や地元地域の御理解など、時間と費用がかかることは御理解をいただきたい。
- ・ 例えば堤防道路から上田城跡櫓下への道路開通した時の踏切整理統合など諏訪部自治会からも御協力をいただき、必要な整備を進めている。

2. 皆様からの主な御意見

①『早く建設決定して、諏訪部の地域振興をしてほしい。』

- ・ 清浄園用地への建設を早く決定して欲しい。地域内で不和が生じている。現在の焼却施設は老朽化し、1日も早くこの事業を進めるべきである。
- ・ 現在の上田クリーンセンターの付近においても、特に公害を感じない。
- ・ 施設整備に当たっては、周辺道路整備をはじめ、諏訪部の振興策を実施してほしい。

②『行政は真剣に諏訪部地域へ働きかけてほしい。』

- ・ 諏訪部地域では、迷惑施設の臭気などに長年悩まされてきた。現在は技術が進歩し、設備が整備されたため、公害もほぼ無いくらいに改善されてきた。
- ・ 地域内には様々な考えの方がおり、不和も生じている。行政が地域に対して、明確な姿勢を持って、真剣に取り組んで欲しい。
- ・ 必要な施設でも「迷惑施設」となれば、何となく反対となりがちだが、新幹線開通時にも、諏訪部では自治会中心に視察や学習を重ねて受け入れてきた歴史がある。

③『諏訪部の全世帯へ情報提供をしてほしい。』

- ・ 地域内が混乱している。なぜそうなってしまったのか。行政がもっと早く説明をすべきであったと強く感じる。
- ・ 今日の懇談会に都合が悪く出席できない方もいる。今日出された質問や意見をまとめていただき、全世帯に情報提供して欲しい。

④ 『住民と行政職員との信頼関係が重要である。』

- ・ 行政職員は人事異動で代わってしまうが、住民は住み続けていく。住民との信頼関係を育てるには、「俺に任せろ」という熱意がある行政職員が必要だ。

⑤ 『諏訪部住民にしっかり説明して欲しい。』

- ・ 地域内でも、自治会が反対している理由がわからないという若い方がいる。
- ・ 実際にデモに参加した方も、自治会の反対理由がわからないと言っていた。
- ・ 行政は諏訪部区民に事業内容をしっかり説明して欲しい。

⑥ 『行政は先進地を参考に、具体的な提案を。』

- ・ 反対の理由は、臭う、汚いが根本。この事業を進める上で、全国から視察が来るくらいの最先端の環境整備をどうやるのか、が重要だ。
- ・ 学識経験者、女性、若者にも参画いただき、資源循環型施設の検討組織を早期に立ち上げ、地域にプラスになるものを計画して欲しい。
- ・ 武蔵野市など市街地に立地している先進地を参考に、職員も勉強し、地域に納得してもらえる具体策を提案して欲しい。
- ・ 行政が独自に諏訪部地域の各世帯を訪問して、事業への意向調査をして欲しい。

3. 土屋陽一 市長からの御礼

- 遅くまで熱心に御参加いただき、ありがとうございます。
- 本当に多くの御意見、御要望をいただいたことを胸に刻み、真剣に事業を進めていきます。
- 住民の皆様への情報提供や意見交換の機会を持つことができなかったことなど、これまでの経過のなかで、諏訪部の皆さんに御心配をおかけしたことを、私の立場から、あらためて、お詫びします。
- 本日、御参加いただけなかった方の声もしっかり受け止めていきたいので、「サテライト市長室」を開設する等、諏訪部の皆様とお話しする機会を設けていきます。
- 今後、「命がけ」という意気込みで取り組んでいくので、御助力をお願いします。